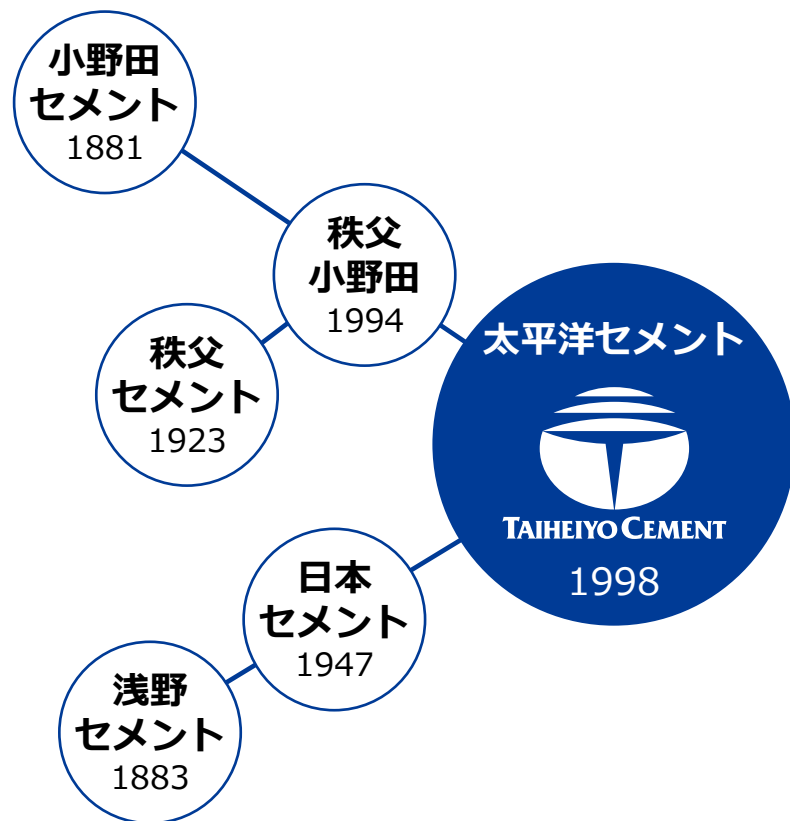




2025年度第2四半期（中間期） 決算説明資料

2025年11月11日

太平洋セメント株式会社



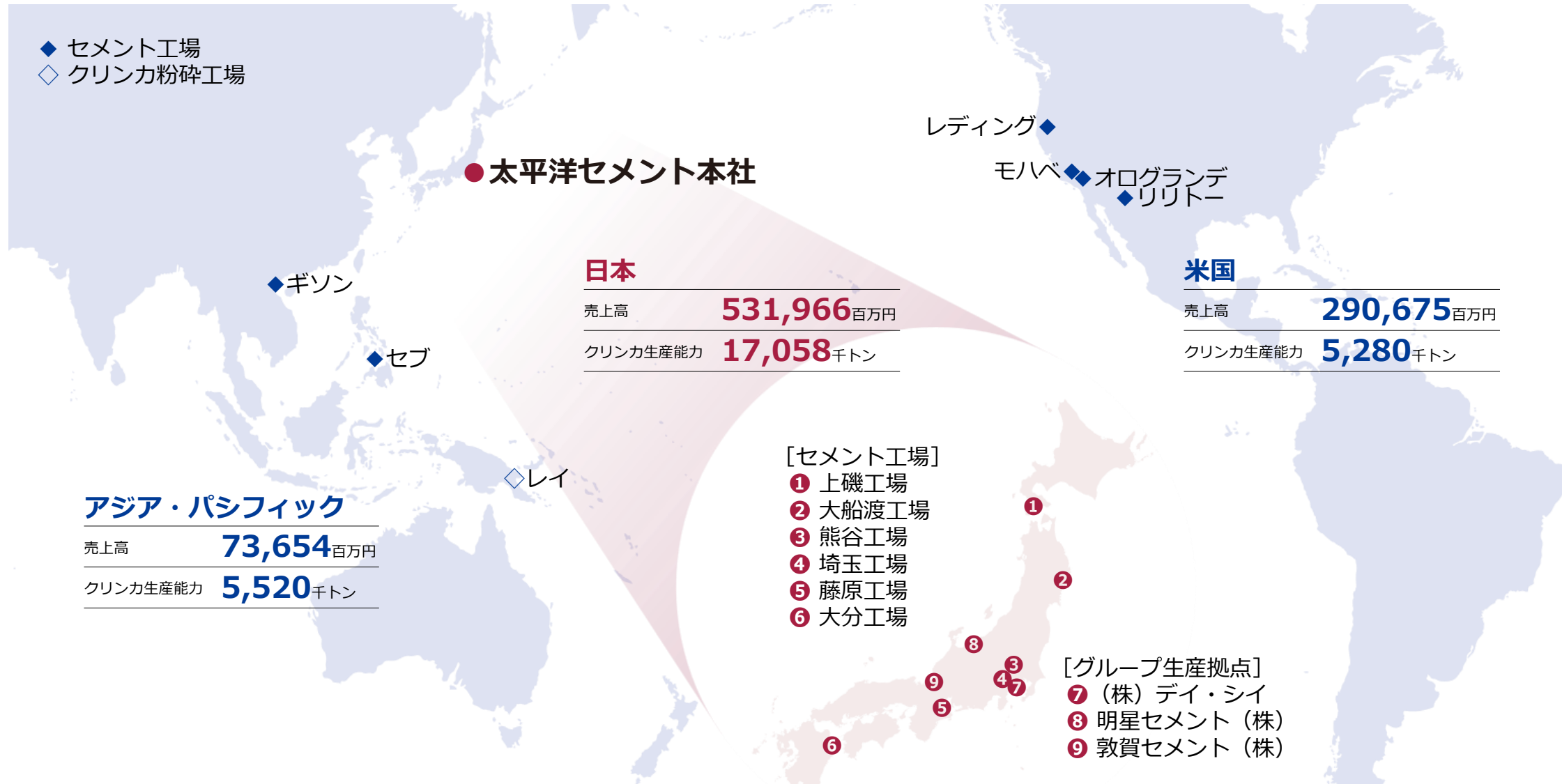
グループ経営理念

太平洋セメントグループは、
持続可能な地球の未来を拓く先導役をめざし、
経済の発展のみならず、
環境への配慮、社会への貢献とも調和した事業活動を行います。

設立	1881年5月3日
資本金	86,174百万円
本社所在地	〒112-8503 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデンゲートタワー
従業員数	連結：12,586名 単体：1,733名（出向含まず）
子会社	201社（うち連結子会社 129社、持分法適用非連結子会社 5社）
関連会社	105社（うち持分法適用関連会社 36社）

（2025年3月31日現在）

進出地域



(2025年3月31日現在)

目次

1. 連結決算ハイライト	P.5	4. 株主還元	P.23
2. 2025年度 第2四半期実績	P.8	Appendix（参考資料）	P.25
(1) セグメント情報	P.9		
(2) 連結損益計算書	P.13		
(3) 連結貸借対照表	P.14		
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P.15		
3. 2025年度業績予想	P.16		
(1) 連結損益計算書	P.18		
(2) セグメント情報	P.19		

1. 連結決算ハイライト

1. 連結決算ハイライト

《決算サマリ》

- 国内セメント値上げ効果・原価改善により営業利益増
- 海外子会社等で減収減益
- 前年度特別利益の反動もあり中間純利益減

(単位：百万円)

	2024年度 第2四半期	2025年度 第2四半期	増減
売上高	443,676	438,141	▲5,535
営業利益	36,389	32,853	▲3,535
経常利益	35,371	32,946	▲2,425
親会社株主に帰属する中間純利益	30,192	24,485	▲5,707
1株当たり中間配当（円/株）	40	50	+10

1. 連結決算ハイライト

《主な指標》

	2024年度 第2四半期	2025年度 第2四半期	増減
売上高営業利益率（%）	8.2	7.5	▲0.7
1株当たり中間純利益（円）	261.2	219.7	▲41.5

	2024年度末	2025年度 第2四半期末	増減
1株当たり純資産（円）	5,758.9	5,737.9	▲21.0
自己資本比率（%）	45.1	44.6	▲0.5
ネットDEレシオ（倍）	0.49	0.52	+0.03

《環境要因》

	2024年度 第2四半期	2025年度 第2四半期	増減
為替平均レート（円/\$）	152.4	148.4	▲4.0
国内輸入石炭等調達価格（C&F \$/t）	155	135	▲20

2. 2025年度第2四半期実績

2. 2025年度第2四半期実績

(1) セグメント情報

(単位：百万円)

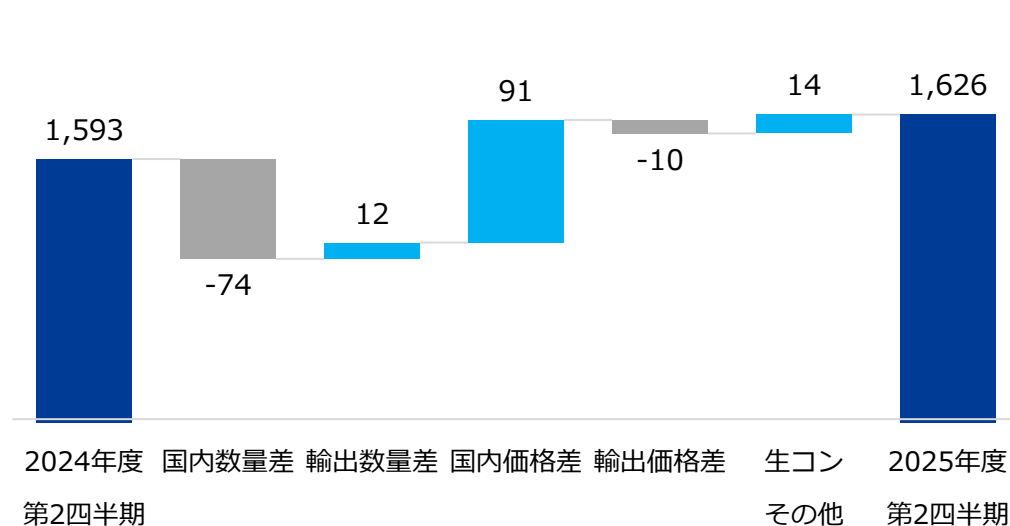
		売上高			営業利益		
		2024年度 第2四半期	2025年度 第2四半期	増減	2024年度 第2四半期	2025年度 第2四半期	増減
セメント	国内	159,294	162,640	+3,345	5,234	11,290	+6,056
	海外子会社等	175,138	164,091	▲11,047	21,079	9,895	▲11,184
計		334,432	326,731	▲7,702	26,313	21,184	▲5,129
資源		43,920	45,303	+1,382	4,822	5,190	+368
環境		38,374	39,909	+1,536	3,824	4,516	+692
建材・建築土木		21,325	21,470	+145	993	917	▲76
その他		34,649	35,471	+822	874	1,103	+228
計		472,701	468,884	▲3,817	36,826	32,910	▲3,916
内部消去		▲29,025	▲30,743	▲1,718	▲438	▲57	+381
連結		443,676	438,141	▲5,535	36,389	32,853	▲3,535

2. 2025年度第2四半期実績

①セメント国内

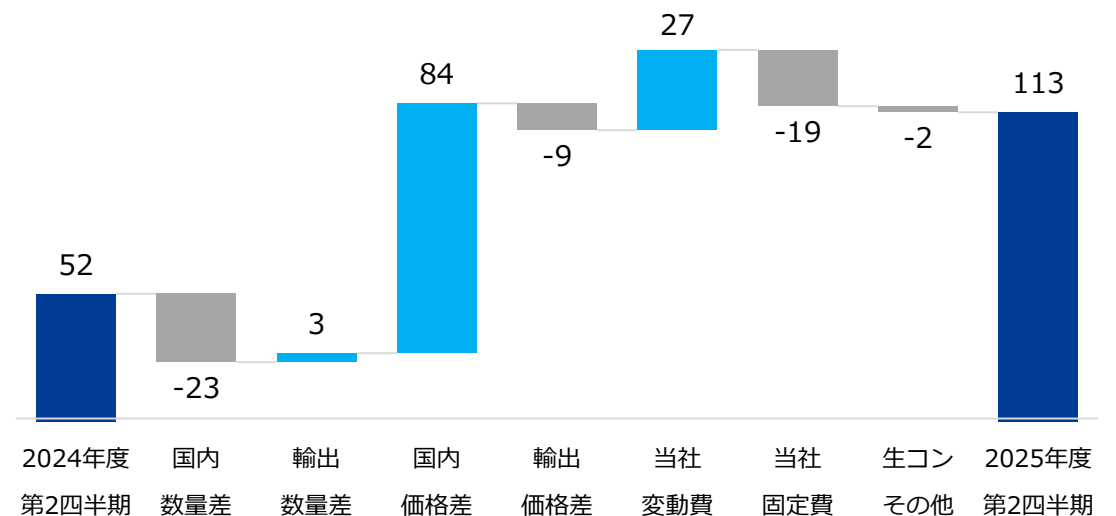
	2024年度 第2四半期	2025年度 第2四半期	増減
販売数量（千t）			
国内	6,165	5,656	▲509
輸出	1,462	1,643	+182
売上高（百万円）	159,294	162,640	+3,345
営業利益（百万円）	5,234	11,290	+6,056

売上高（億円）



- 生コン協同組合の週休二日制導入拡大に伴う出荷数量減、熱中症対策や天候不順等による現場作業時間の減少に伴い国内需要減少。当社セメント販売数量も減少
- 販売数量減の中、セメント・固化材の販売価格の値上げ、原価改善により、営業利益増

営業利益（億円）



2. 2025年度第2四半期実績

②海外子会社等 《米国》

	2024年度 第2四半期	2025年度 第2四半期	増減
セメント (千t)	3,074	2,962	▲111
生コン (千cy)	2,924	2,381	▲543
骨材 (千t)	5,671	6,032	+362
売上高 (億円)	1,510	1,392	▲118
(百万\$)	(991)	(938)	(▲53)
営業利益 (億円)	220	122	▲98
(百万\$)	(144)	(82)	(▲62)

- 需要は悪天候及び金利高止まりに伴う民間部門の減速等の影響を受けた
- 需要減に伴いセメント・生コンの販売数量は減少、値上げやコスト削減に取り組んだが減益
- 骨材事業は買収効果により販売数量増

《アジア他》 (連結子会社単純合算)

	2024年度 第2四半期	2025年度 第2四半期	増減
セメント (千t)	3,437	3,722	+286
売上高 (億円)	277	281	+4
営業利益 (億円)	▲2	▲15	▲13

- (ベトナム) 堅調な国内需要を背景に前年並の利益を確保
- (フィリピン) 安価な輸入品の流入継続による売価下落等の要因により損益悪化。収益改善の取組継続

※海外子会社等の増減における為替影響は以下のとおりです。

売上高 ▲51 億円 営業利益 ▲3 億円

2. 2025年度第2四半期実績

③資源、環境事業、建材・建築土木、その他

(単位：百万円)

		2024年度 第2四半期	2025年度 第2四半期	増減	主要な増減内容（純増減）
資源	売上高	43,920	45,303	+1,382	骨材及び国内向け石灰石が販売数量減となった一方、固化不溶化材は販売数量増。各種コストアップ分の販売価格への転嫁が浸透。
	営業利益	4,822	5,190	+368	
環境	売上高	38,374	39,909	+1,536	下水汚泥処理は伸び悩んだものの、リニア建設発生土の埠頭中継業務や石炭灰処理は堅調に推移
	営業利益	3,824	4,516	+692	
建材・ 建築土木	売上高	21,325	21,470	+145	ALC（軽量気泡コンクリート）及び建築・土木材料の販売価格の適正化に努めたものの、運賃や人件費等の各種コストアップの影響を受けた
	営業利益	993	917	▲76	
その他	売上高	34,649	35,471	+822	
	営業利益	874	1,103	+228	

2. 2025年度第2四半期実績

(2) 連結損益計算書

(単位：百万円)

	2024年度 第2四半期	2025年度 第2四半期	増減
売上高	443,676	438,141	▲5,535
営業利益	36,389	32,853	▲3,535
営業外損益	▲1,017	93	+1,110
経常利益	35,371	32,946	▲2,425
特別損益	4,499	▲939	▲5,438
税金等調整前中間純利益	39,871	32,008	▲7,863
法人税等	8,997	6,906	▲2,091
非支配株主に帰属する中間純利益	681	616	▲65
親会社株主に帰属する中間純利益	30,192	24,485	▲5,707

2. 2025年度第2四半期実績

(3) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

		2025年 3月末	2025年 9月末	増減			2025年 3月末	2025年 9月末	増減
流動資産	現金及び預金	74,987	77,495	+2,508	負債	流動負債	388,354	425,746	+37,392
	受取手形、売掛金及び契約資産	180,544	187,621	+7,077		固定負債	359,217	338,616	▲20,601
	棚卸資産	127,846	129,235	+1,389		負債合計	747,571	764,362	+16,791
	その他	22,354	20,960	▲1,394	純資産	株主資本	86,174	86,174	-
流動資産 計		405,731	415,310	+9,580		資本剰余金	50,288	49,360	▲928
固定資産	有形固定資産	738,702	731,910	▲6,792		利益剰余金	417,460	437,484	+20,024
	無形固定資産	47,015	42,877	▲4,138		自己株式	▲22,131	▲21,931	+200
	投資その他の資産	232,248	243,767	+11,519		株主資本合計	531,791	551,087	+19,296
						その他の包括利益累計額	109,879	88,586	▲21,293
	固定資産 計	1,017,965	1,018,554	+589		非支配株主持分	34,455	29,829	▲4,625
資産合計		1,423,695	1,433,864	+10,169	純資産合計		676,124	669,502	▲6,622
					負債純資産合計		1,423,695	1,433,864	+10,169

	2024年 12月末	2025年 6月末	増減
(為替) 期末レート (円/\$)	158.2	144.8	▲13.4

	2025年 3月末	2025年 9月末	増減
有利子負債 (百万円)	389,688	410,591	+20,902

2025年度第2四半期実績

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2024年度 第2四半期	2025年度 第2四半期	増減
営業キャッシュ・フロー*	41,099	46,744	+5,646
投資キャッシュ・フロー	▲40,499	▲48,574	▲8,075
フリー・キャッシュ・フロー	600	▲1,830	▲2,429
財務キャッシュ・フロー	▲5,575	8,222	+13,796
*うち、減価償却費・のれん償却費	29,418	33,863	+4,446

3. 2025年度 業績予想

3. 2025年度 業績予想

《前提条件》

- 2025年度業績予想見直しの前提は以下の通り

	2024年度実績	2025年度予想	増減
セメント国内需要（万t）	3,266	3,050	▲216
国内輸入石炭等平均調達価格（C&F \$/t）	150	130	▲20
為替平均レート（円/\$）	151.7	148.0	▲3.7

（感応度 営業利益影響額：為替が1円円安で+0.3億円）

《業績予想見直しサマリ》

- セメント国内需要を3,050万 t に修正
- 海外子会社の予想を引き下げ
- コスト見直しを反映し、5月公表予想から下方修正

3. 2025年度 業績予想

(1) 連結損益計算書

(単位：億円)

	2024年度実績	2025年度予想	増減
売上高	8,963	9,060	+97
営業利益	777	700	▲77
営業外損益	▲24	▲20	+4
経常利益	754	680	▲74
特別損益	▲8	▲70	▲62
税金等調整前当期純利益	746	610	▲136
法人税等	158	145	▲13
非支配株主に帰属する当期純利益	14	15	+1
親会社株主に帰属する当期純利益	574	450	▲124

3. 2025年度 業績予想

(2) セグメント情報

(単位：億円)

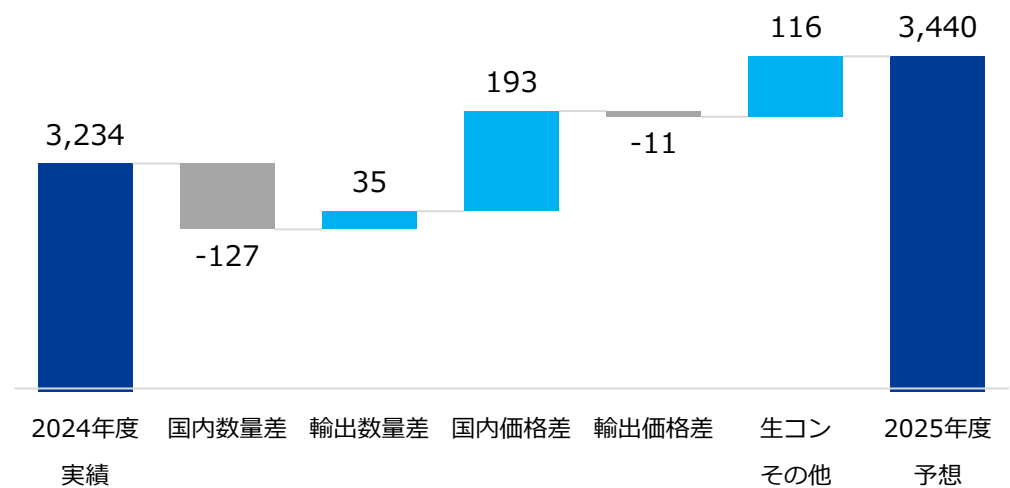
		売上高			営業利益		
		2024年度 実績	2025年度 予想	増減	2024年度 実績	2025年度 予想	増減
セメント	国内	3,234	3,440	+206	161	260	+99
	海外子会社等	3,448	3,240	▲208	384	214	▲170
	計	6,682	6,680	▲2	544	474	▲70
資源		882	930	+48	96	99	+3
環境		809	830	+21	90	89	▲1
建材・建築土木		443	440	▲3	24	16	▲8
その他		786	820	+34	39	31	▲8
計		9,602	9,700	+98	793	709	▲84
内部消去		▲639	▲640	▲1	▲16	▲9	+7
連結		8,963	9,060	+97	777	700	▲77

3. 2025年度 業績予想

①セメント国内

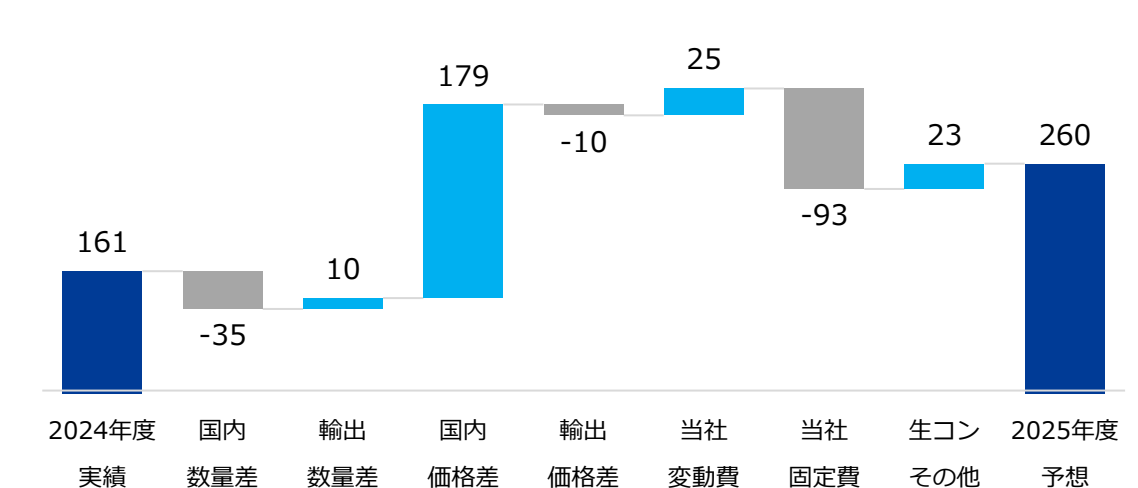
	2024年度実績	2025年度予想	増減
販売数量（千t）			
国内	12,329	11,300	▲1,029
輸出	3,025	3,600	+575
売上高（億円）	3,234	3,440	+206
営業利益（億円）	161	260	+99

売上高（億円）



- 国土強靱化対策、企業の国内投資回帰など需要を支える要因があるものの、生コン協同組合の週休二日制導入拡大に伴う出荷数量減、熱中症対策や天候不順等による現場作業時間の減少に伴い国内需要減少。当社セメント販売予想数量を引き下げ。
- セメント・固化材の販売価格の値上げ達成、原価改善により、対前年営業利益増。

営業利益（億円）



3. 2025年度 業績予想

②海外子会社等 《米国》

	2024年度 実績	2025年度 予想	増減
セメント (千t)	6,123	5,922	▲201
生コン (千cy)	5,479	4,683	▲796
骨材 (千t)	11,512	12,233	+721
売上高 (億円)	2,976	2,738	▲237
(百万\$)	(1,962)	(1,856)	(▲106)
営業利益 (億円)	410	269	▲141
(百万\$)	(270)	(182)	(▲88)

- 需要は悪天候及び金利高止まりに伴う民間部門の減速等の影響が継続
- 需要減に伴いセメント・生コンの販売数量は減少、値上げやコスト削減に取り組むが減益見込み
- 骨材事業は買収効果により販売数量増を見込む

《アジア他》 (連結子会社単純合算)

	2024年度 実績	2025年度 予想	増減
セメント (千t)	6,669	7,380	+711
売上高 (億円)	534	551	+17
営業利益 (億円)	▲12	▲40	▲28

- (ベトナム) 堅調な国内需要を背景に、前年並の利益を見込む
- (フィリピン) セーフガード発動により、安価な輸入品の流入は減少傾向にあるものの赤字継続。需給改善には今しばらく時間を要する見込み。コスト削減の取り組みは継続

※海外子会社等の増減における為替影響は以下のとおりです。

売上高 ▲105 億円 営業利益 ▲7 億円

《参考》 生コン事業用資産買収と大型設備投資による事業拡大

今回の投資案件は、「26中計」で掲げる米国事業の成長戦略に沿った取り組みであり、生コン事業のM&Aによる事業拡大・サプライチェーンの強化を目的としています。

【①生コン事業用資産買収の概要】

買収目的	・生コン事業の拡大 ・セメント安定供給先の確保 ・スラグ・フライアッシュ等セメンティッシュ マテリアル（SCMs）の安定供給先確保
買収金額	712百万ドル
買収時期	2025年12月内 関係当局によるクリアランス等の前提条件が満たされることが要件
買収資産の内容	①北CAに所在する生コン工場28拠点、ターミナル2拠点 等 ②南CAに所在する生コン工場13拠点 等
買収効果 （26年）	①生コン販売数量 24年実績 548万cyから、824万cyに増加見込み ②対象事業の24 年度における売上高 524百万ドル

【②近年の主な買収および大型設備投資】

2024年	グライムス採石場・ステート生コン ・貴重な資源である骨材ソースおよびセメントの安定供給先確保
2025年	生コンクリート事業用資産等買収（本件） ・西海岸全域で生コン事業を展開
2026年 （予定）	ストックトンターミナルサイロ増設 ・サプライチェーンの強化、混合セメント、SCMs 等の需要拡大に対応



グライムス採石場



ストックトン・ターミナル
増設工事中サイロ



Type I L(混合セメント)納入例
17,000cyのコンクリート構造
物向けに使用
The California Science Center
内(ロサンゼルス)

4. 株主還元

4. 株主還元

- 2025年度は、20円増の100円/株（中間配当50円/株含む） 予定

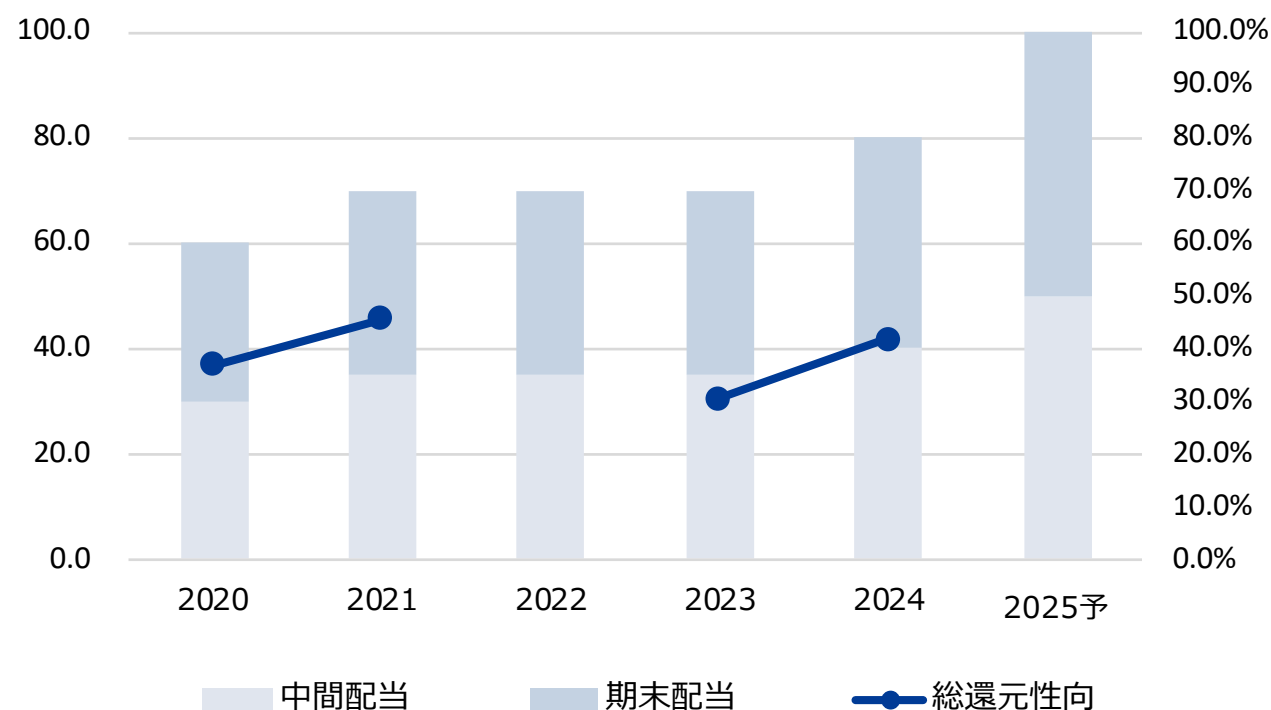
《26中計株主還元方針》

総還元性向 33%以上

安定配当の継続

1株当たりの配当額 80円以上

機動的な自己株式の取得



Appendix (参考資料)

2025年度 業績予想

《前提条件》

- 2025年度業績予想見直しの前提は以下の通り

	2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減
セメント国内需要（万t）	3,100	3,050	▲50
国内輸入石炭等平均調達価格（C&F \$/t）	140	130	▲10
為替平均レート（円/\$）	145.0	148.0	+3.0

（感応度 営業利益影響額：為替が1円円安で+0.3億円）

《業績予想見直しサマリ》

- セメント国内需要を3,050万 t に修正
- 海外子会社の予想を引き下げ
- コスト見直しを反映し、5月公表予想から下方修正

2025年度 業績予想

(1) 連結損益計算書

(単位：億円)

	2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減
売上高	9,500	9,060	▲440
営業利益	850	700	▲150
営業外損益	▲20	▲20	-
経常利益	830	680	▲150
特別損益	▲75	▲70	+5
税金等調整前当期純利益	755	610	▲145
法人税等	145	145	-
非支配株主に帰属する当期純利益	10	15	+5
親会社株主に帰属する当期純利益	600	450	▲150

2025年度 業績予想

(2) セグメント情報

(単位：億円)

		売上高			営業利益		
		2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減	2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減
セメント	国内	3,520	3,440	▲80	260	260	-
	海外子会社等	3,520	3,240	▲280	335	214	▲121
	計	7,040	6,680	▲360	595	474	▲121
資源		960	930	▲30	99	99	-
環境		850	830	▲20	97	89	▲8
建材・建築土木		480	440	▲40	28	16	▲12
その他		810	820	+10	31	31	-
計		10,140	9,700	▲440	850	709	▲141
内部消去		▲640	▲640	-	0	▲9	▲9
連結		9,500	9,060	▲440	850	700	▲150

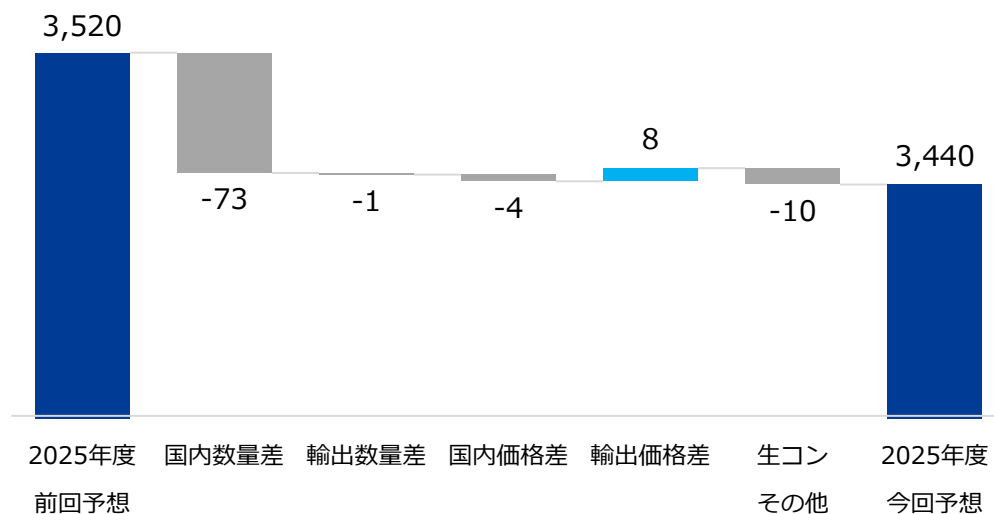
2025年度 業績予想

①セメント国内

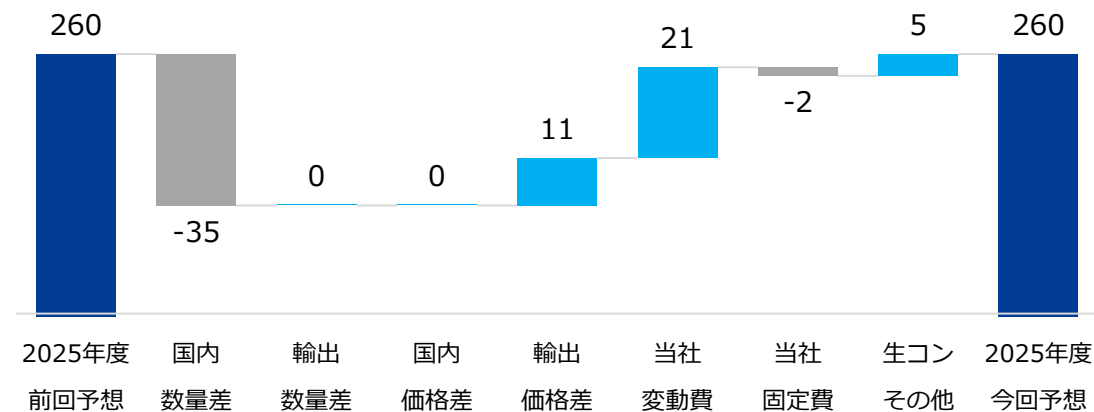
	2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減
販売数量（千t）			
国内	11,700	11,300	▲400
輸出	3,600	3,600	-
売上高（億円）	3,520	3,440	▲80
営業利益（億円）	260	260	-

- 国土強靱化対策、企業の国内投資回帰など需要を支える要因があるものの、生コン協同組合の週休二日制導入拡大に伴う出荷数量減、熱中症対策や天候不順等による現場作業時間の減少に伴い国内需要減少。当社セメント販売予想数量を引き下げ。

売上高（億円）



営業利益（億円）



2025年度 業績予想

②海外子会社等 《米国》

	2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減
セメント (千t)	6,262	5,922	▲340
生コン (千cy)	5,656	4,683	▲972
骨材 (千t)	12,632	12,233	▲400
売上高 (億円)	2,920	2,738	▲182
(百万\$)	(2,014)	(1,856)	(▲158)
営業利益 (億円)	349	269	▲80
(百万\$)	(241)	(182)	(▲59)

《アジア他》 (連結子会社単純合算)

	2025年度 前回予想	2025年度 今回予想	増減
セメント (千t)	7,906	7,380	▲526
売上高 (億円)	619	551	▲68
営業利益 (億円)	1	▲40	▲41

- インフラプロジェクト等の工事口向けの出荷は好調だったものの、金利高止まりに伴う住宅部門および商業部門のプロジェクト遅延等が想定よりも継続し、販売数量減
- 2026年以降緩やかな回復を見込むものの、本格的な需要回復は利下げの効果が発現する2027年以降を想定

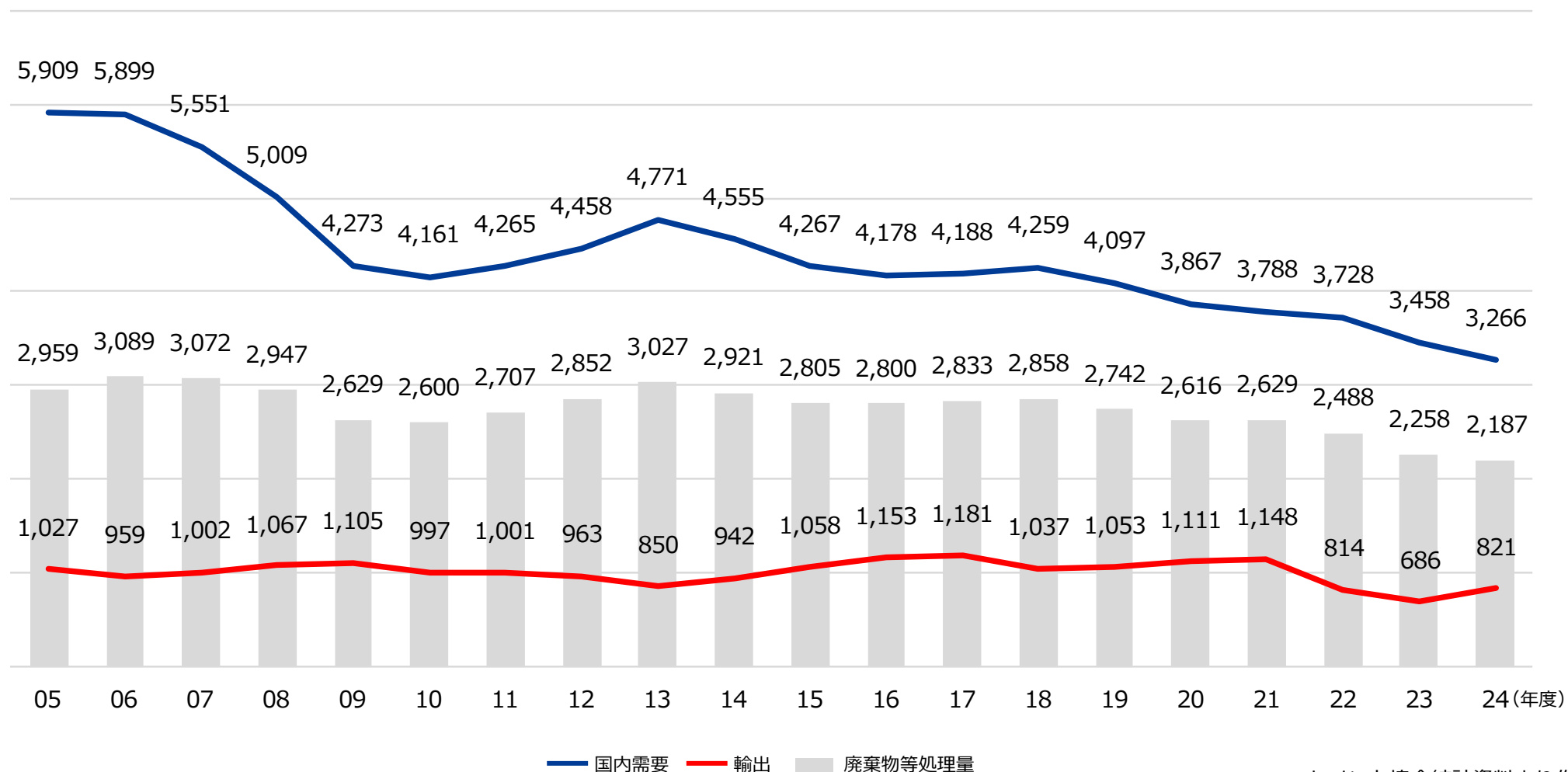
- (フィリピン) 需給改善による販売数量増・値上げを見込んだものの、セーフガード発動に伴う本格的な需給回復は想定よりも時間を要しており、損益改善が遅れている

※海外子会社等の増減における為替影響は以下のとおりです。

売上高 +56 億円 営業利益 +3 億円

《参考》セメント国内需要・輸出数量・廃棄物等処理量

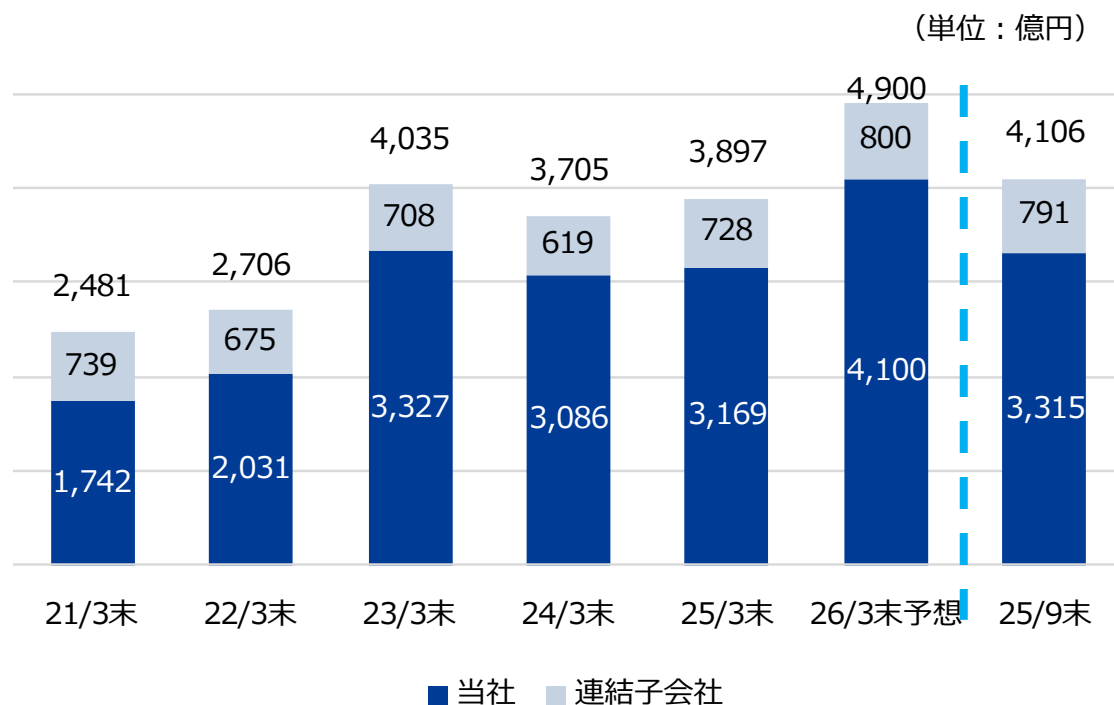
セメント国内需要・輸出数量・廃棄物等処理量（万t）



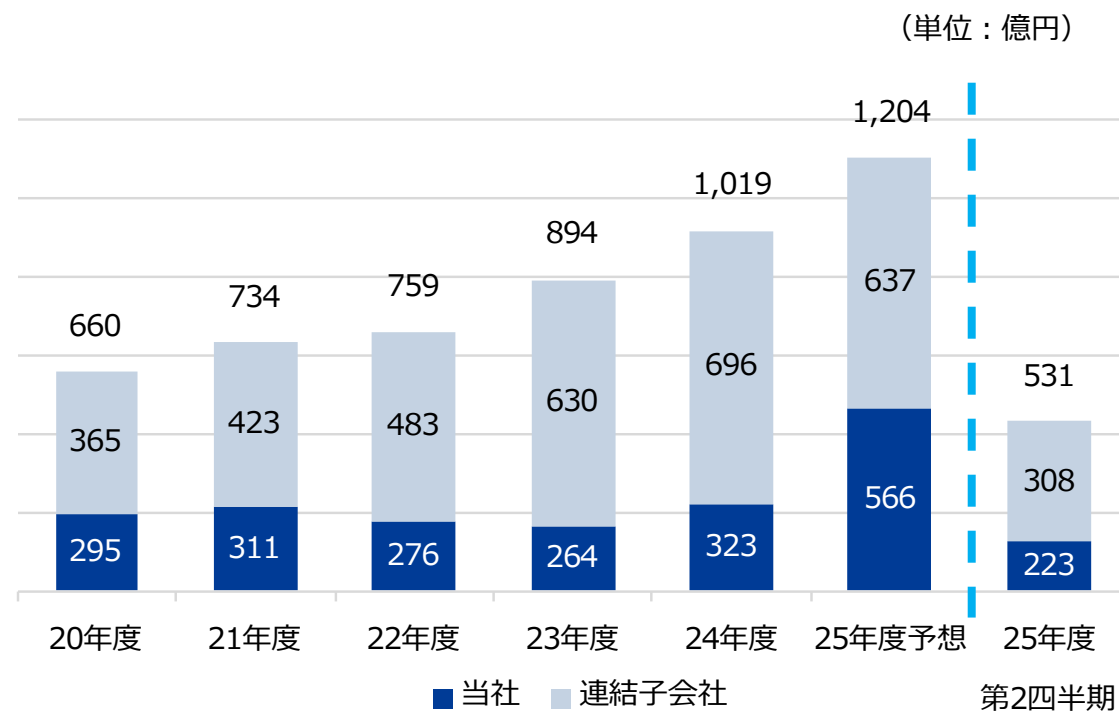
セメント協会統計資料より作成

推移データ

(1) 有利子負債

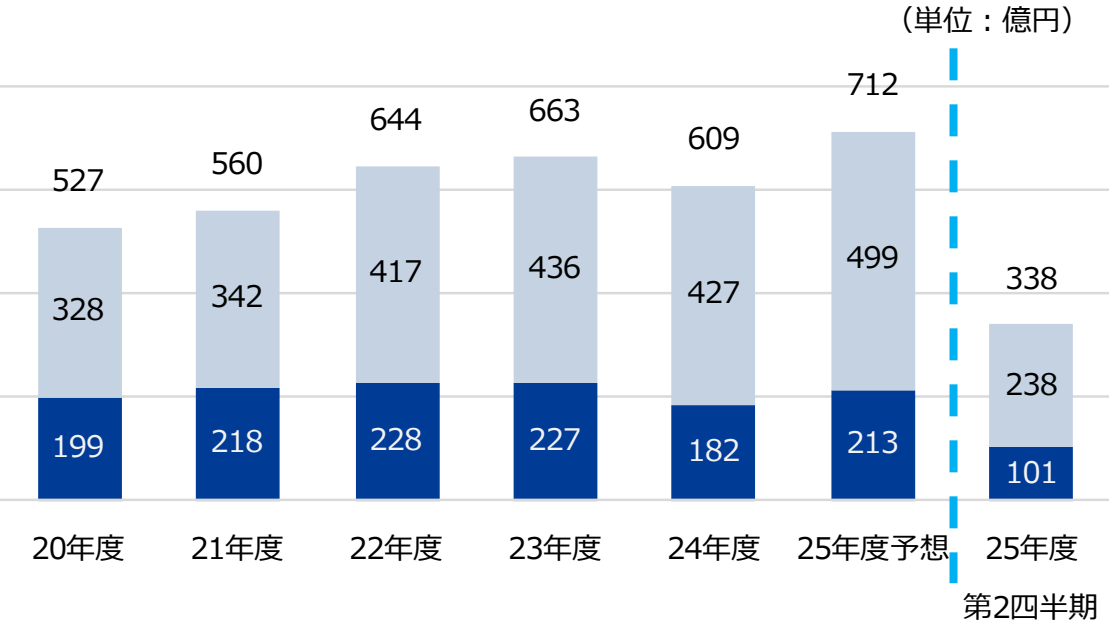


(2) 設備投資



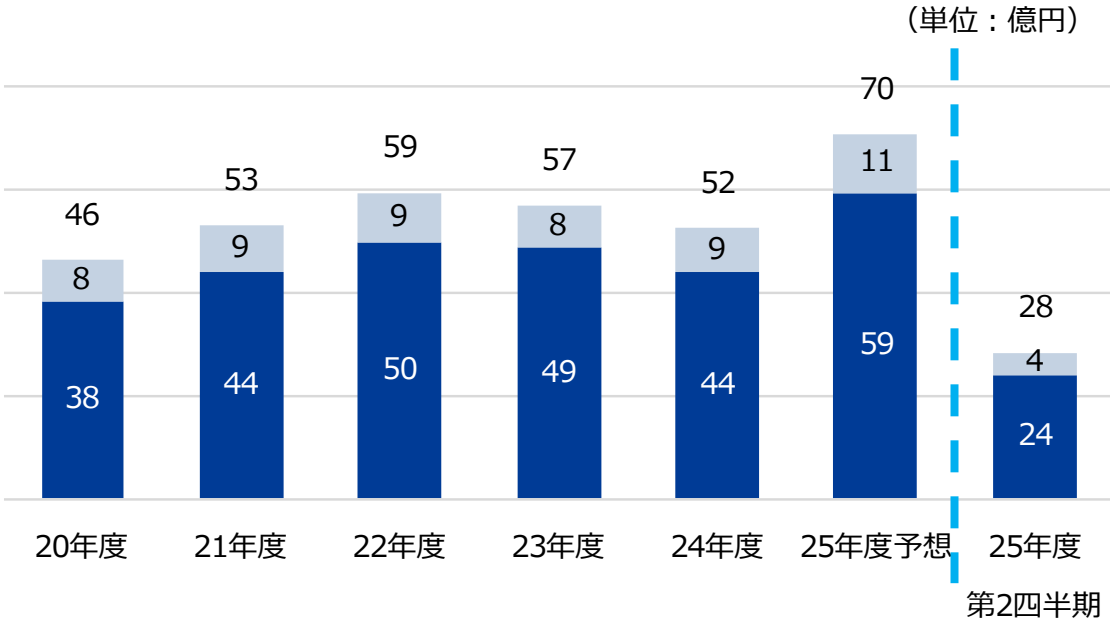
推移データ

(3) 減価償却費



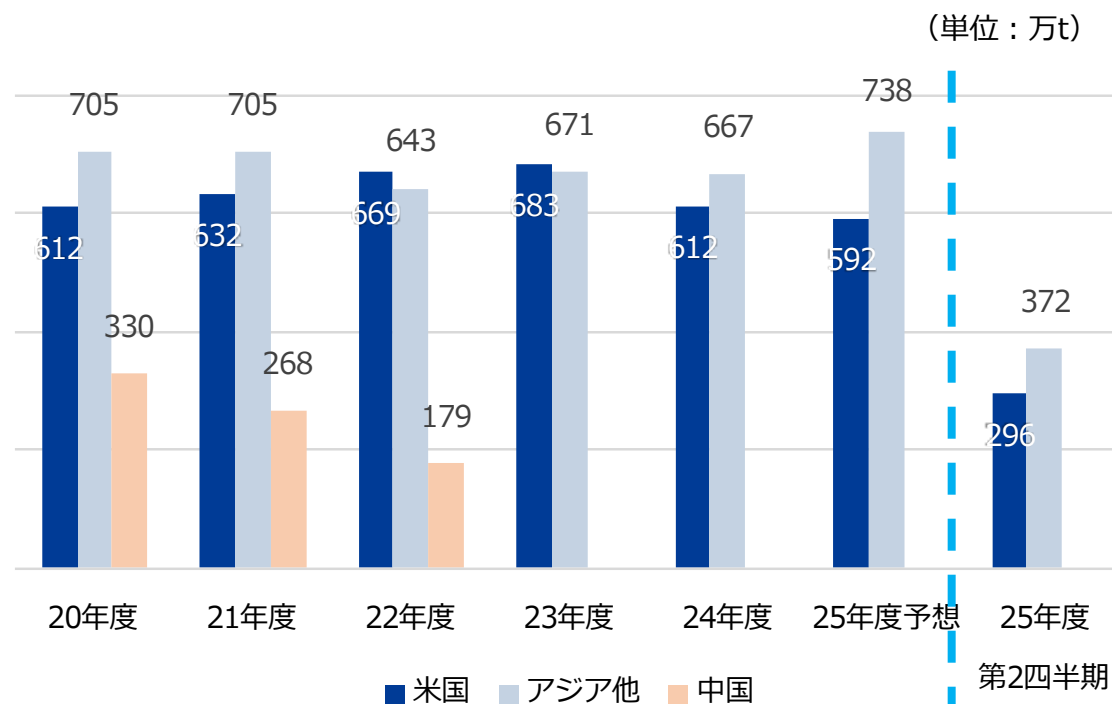
※2024年度より償却方法変更（定率法→定額法）

(4) 研究開発費

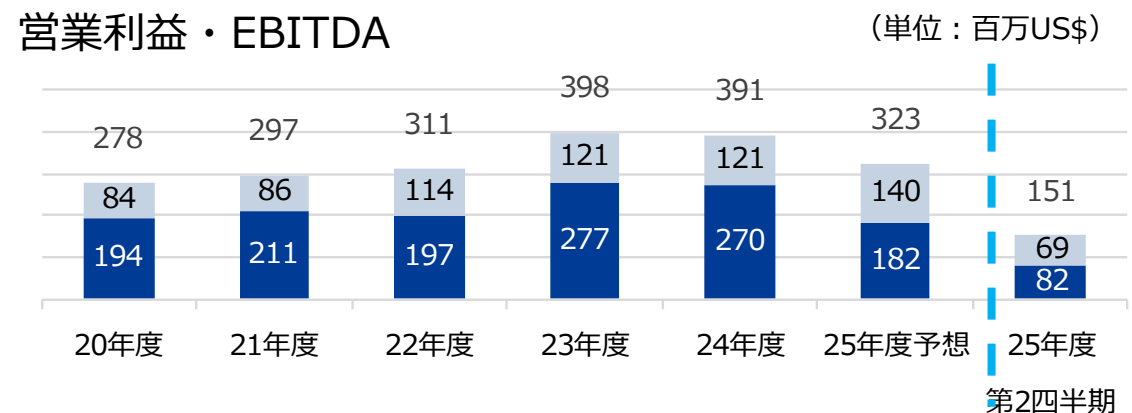
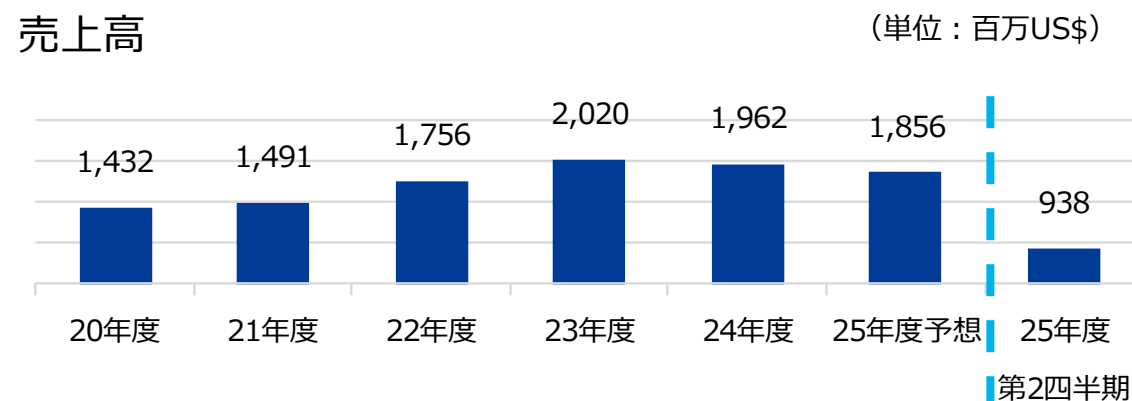


推移データ

(5) 海外子会社セメント販売数量 (連結子会社単純合算)



(6) 米国事業



※米国他社との比較性向上のために、EBITDAを追記しました。

循環経済形成のキープレイヤー

当社グループは、カーボンニュートラルへの着実な移行を進めながら、国土強靱化のための重要資材のサプライヤーとして、また、循環経済形成のキープレイヤーとしての役割を果たしています。

現在、わが国のセメント産業の
廃棄物・副産物の使用量は、
国内循環利用量の約10%に相当します。

廃棄物・副産物の利用

- ・石炭灰
- ・各種産業廃棄物
- ・都市ごみ
- ・上水
など
- ・高炉スラグ
- ・建設発生土
- ・焼却残さ
- ・下水汚泥

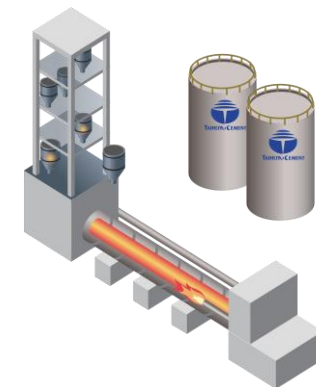
循環経済形成の キープレイヤー

当社グループでは、
地域社会や他産業で発生する
廃棄物・副産物を
原燃料として使用し、
リサイクル率40%以上の
セメントを製造

社会インフラ・ 生活環境整備に利用

- ・道路
- ・橋梁
- ・学校
- ・ダム
- ・地下施設
など
- ・鉄道
- ・トンネル
- ・病院
- ・堤防
- ・港湾
- ・住宅
- ・商業ビル
- ・護岸

国土強靱化のための 重要資材供給



カーボンニュートラル戦略 ロードマップ

2050年サプライチェーン全体でのCN実現を目指した取組み

排出原単位20%以上削減（2000年比）

Carbon Neutral

2024

2026

2030

2050

Carbon Neutral 対策

革新技术開発

既存技術：
CO₂低減

既存技術：
CO₂吸収

CNモデル事業

激甚災害対策

革新的アプローチ

～世界をリードする技術開発～

漸進的アプローチ

～既存技術の深化 & 新技術の横展開～

即効性アプローチ

～既存技術最大活用～

- 混合セメントへのシフト加速
- 混合材調達体制整備
- 化石燃料の代替促進

- 混合セメント新規格化（利用拡大）
- ガス焼成（メタン、水素等）
- 低CO₂セメント（CARBOFIX®）
- 新型粉砕助剤の開発
- CO₂固定（カーボキャッチ®）

- CO₂回収（C2SPキルン®）
- CCU（メタネーション等）
- CCS（精製・出荷技術）

屋久島町のゼロカーボン
アイランド構想への協力

デイ・シイCNモデル工場化の推進

保有技術の適用、新技術開発

例）地盤改良材、世界最高強度コンクリート等

外部評価

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index



Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index (GenDi J)



MSCI日本株 ESGセレクト・リーダーズ指数

2024 CONSTITUENT MSCI日本株
ESGセレクト・リーダーズ指数

Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index

S&P/JPXカーボン・ エフィシエント指数



CDP

[気候変動でB、水でBを取得]
[サプライヤーエンゲージメント・リーダーに選定]



JCR

[2024年にA+を取得]



R&I

[2024年にAを取得]



プラチナくるみん認定

[2023年8月に取得]



健康経営優良法人認定制度

[2023年から連続して取得]



人的資本経営品質2023

[2024年2月シルバーに選定]



DBJ環境格付

[9回連続で最高ランク]



トピックス

2025年7月16日	CDPサプライヤーエンゲージメント評価において、最高評価の「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に2年連続で選定
2025年8月4日	国内セメント業界初のAI 配船計画最適化システムの運用開始
2025年8月4日	太平洋セメント株式会社と九電みらいエナジー株式会社はオフサイトPPA契約を締結
2025年8月8日	パシフィックシステム株式会社株式（証券コード：3847）に対する 公開買付けの開始に関するお知らせ
2025年8月19日	エコセメント化施設基幹的設備改良工事及び運営事業を受注
2025年9月8日	株式会社ナコードが廃太陽光パネルのリサイクル事業を開始
2025年9月29日	「太平洋セメントレポート2025」（統合報告書）公開について
2025年10月28日	米Vulcan社の生コンクリート事業用資産等買収に関するお知らせ
2025年10月29日	屋久島町にEV急速充電器などの設置を決定
2025年10月29日	鹿児島県産の火山性堆積物「シラス」を屋久島町の民間工事に採用
2025年11月11日	従業員持株会向け譲渡制限付株式インセンティブとしての自己株式の処分に関するお知らせ

本資料に記載されている将来の見通しに関する内容につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づき判断したものであり、リスクや不確定要素を含んでいます。

従いまして、記載されている将来の予想数値を当社として確約あるいは保証するものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

